

不明。「一たん」とあるので布であろうか。裏面屋号の下に「徳芳」とあるのは差出人と思われるが、通称であろうか。このような表記の仕方は珍らしい。(5)は品名部分が欠けている。(6)は上部がわざかに欠けて、日付の上に一字分墨痕がある。「米壱石」の荷札。「内藤右衛門」の下の一字は「、」とあり、読み方不詳。(7)は矩形の札で、四隅を少し削り、他の木簡より厚く、鑑札ではないかと推定している。「慶三年」は「慶長三年」の略記で三の丸新設がこの年の五月に命じられている。(7)は第七層でも上層から出土しており、武家屋敷が取り扱われた時の整地層に該当する。まだ七月には大きな盛土工事がここまで及んでいないことがわかった。(8)は「天正十五」のみで年の字は書いていない。

なおこの他に「みずのとの 孫三郎 とり」と三行に彫刻し、多数の焼印を押した箱状の木製品(糸か)が第七層下層から出土している。「みずのとの」「とり」は「癸酉」で天正一年(一五八三)、大坂城築城開始の年にあたる。

なお訛読にあたっては大阪城天守閣の渡辺武・内田九州男・北川央の各氏の御教示を得た。

9 関係文献

佐久間貴士「大坂城跡の発掘調査—府立婦人総合センター建設予定地」『大阪府下埋蔵文化財研究会(第22回)資料』(一九九〇年)

(佐久間貴士)

木簡研究 第一〇号

卷頭言 木簡学会の十年

原秀三郎

一九八七年出土の木簡

原秀三郎

概要 平城宮・京跡 興福寺勅使坊門跡下層 藤原宮跡 藤原京跡
藤原京左京九条三坊 紀寺跡 長岡宮跡 長岡宮・京跡 鳥羽離宮
跡 千代川遺跡 矢谷遺跡 大坂城跡(1) 大坂城跡(2) 梶原南遺跡
宅原遺跡(豊浦地区) 長田神社境内遺跡 曹写坂本城跡 砂入遺
跡 杉垣内遺跡 清洲城下町遺跡 岩倉城遺跡 勝川遺跡 刘安賓
遺跡 山中遺跡 小町一丁目一〇番地点遺跡 宮町遺跡 川田川
原田遺跡 光相寺遺跡 妙楽寺遺跡 金測遺跡 南古館遺跡 大橋
遺跡 手取清水遺跡 角谷遺跡 横江莊遺跡 白坏遺跡 草戸千軒
町遺跡 延行条里遺跡 長門國分寺跡 安養寺遺跡 金光寺跡推定
地 博多遺跡群(築港線関係第三次調査) 吉野ヶ里遺跡群 本告
牟田遺跡

一九七七年以前出土の木簡(一〇)

平城宮跡(第四四次)

中世木簡の一形態——山札・茅札についての覚書

雲夢睡虎地秦墓竹簡「日書」より見た法と習俗

木簡の保存処理

稟報

『木簡研究』六〇号総目次

研究集会報告一覧

木簡出土遺跡報告書等目録

木簡出土遺跡一覧

頒価 三八〇〇円

四〇〇円

寺崎保広

石井進
工藤元男
沢田正昭